

1 鳥取市のすがた

(1) 背景

日本一の鳥取大砂丘を有する「鳥取市」は、中国山地から日本海へ北流する千代川流域にひらけた鳥取平野の東部に、古く城下町として生まれ、江戸時代は、鳥取藩池田家32万石の城下町として栄えた。明治22年10月1日市制を施行し、以来県都として、また、山陰地方東部の中核都市として、政治、経済、文化の中心となり発展をしてきた。

大正時代の千代川の度重なる氾濫、昭和18年の鳥取大地震、昭和27年の鳥取大火など幾度となく大災害に見舞われたが、その都度粘り強い市民の精神力と努力により立ち直ってきた。

その後、都市の近代化に積極的に取り組み、昭和53年に鳥取駅高架事業が、昭和55年には鳥取駅前土地区画整理事業が完成し、鳥取駅周辺の整備を行ったほか、平成11年3月には、産・学と調和のとれた住環境である鳥取新都市（ついのニュータウン）開発整備事業が完了した。

交通網の整備については、昭和42年の鳥取空港完成、平成6年12月の智頭線開通により首都圏および近畿圏とのアクセスが短縮されたほか、高速自動車道として中国横断自動車道姫路鳥取線が、平成21年度開通を目指し順次整備が進められている。

産業の振興については、地域産業の振興や企業誘致に積極的に取り組んでおり、電気機械工業を中心とした製造業が盛んであるほか、二十世紀梨や松葉ガニ、砂丘らっきょうなどの特産品を産する農林業の振興にも積極的に取り組んでいる。

さらに、高齢化社会への対応として社会福祉施設等の整備・充実を図り、文化施設として、世界のおもちゃなどを展示した「わらべ館」および鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を整備したほか、教育面においては、平成13年4月環境をテーマとした鳥取環境大学が公設民営方式により開学した。

平成16年11月1日には鳥取県東部の6町2村との市町村合併により、山陰地方で初めて20万人都市へ、さらに平成17年10月1日には、特例市となった。

第8次鳥取市総合計画を策定し、まちづくりの目標である「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」、山陰の発展をリードする中核都市の実現に向かってさらなる発展を目指している。また、市民が主役の市政の実現に向けて協働のまちづくりを進めており、市民・地域と行政との協働を推進し、地域のコミュニティの充実強化に取り組んでいる。

| 時代 | 西暦 | 年号 | 主 な で き ご と |
|------|------|--|---------------------------------------|
| 明治 | 1889 | 明治22 | 市政施行 |
| | 1896 | 29 | 鳥取40連隊設置 |
| | 1907 | 40 | 仁風閣建築（皇太子を迎える） |
| | 1912 | 45 | 山陰鉄道 京都～出雲間（現在の山陰本線）全通 |
| 大正 | 1912 | 大正元 | 千代川氾濫による大洪水 |
| | 1915 | 4 | 上水道給水開始 |
| | 1918 | 7 | 千代川氾濫による大洪水 |
| | 1921 | 10 | 鳥取高等農業学校（現在の鳥取大学）開校 |
| | 1923 | 12 | 千代川氾濫による大洪水 |
| | 1925 | 14 | 駅前に温泉湧出 |
| 昭和 | 1930 | 昭和5 | 千代川の大改修完成 |
| | 1943 | 18 | 鳥取大地震（M.7.3 死者1,025人） |
| | 1949 | 24 | 鳥取大学発足 |
| | 1952 | 27 | 鳥取大火災（焼失面積1.6k㎡） |
| | 1953 | 28 | 15村合併により市の行政基盤固まる（人口63千人から99千人へ） |
| | 1955 | 30 | 鳥取砂丘天然記念物に指定 |
| | 1958 | 33 | 〃 国立公園に指定 |
| | 1964 | 39 | 市庁舎完成、釧路市と姉妹都市提携 |
| | 1967 | 42 | 鳥取空港完成 |
| | 1972 | 47 | 姫路市と姉妹都市提携 |
| | 1978 | 53 | 鳥取駅高架化完成 |
| | 1983 | 58 | つのいニュータウン事業実施基本計画の認可（9月8日） |
| | 1985 | 60 | 鳥取南バイパス、駅南広場完成、ジェット機就航、第40回国体（わかとり）開催 |
| | 1986 | 61 | 鳥取港一部供用開始 |
| 1988 | 63 | 人口14万人突破（7月23日） | |
| 平成 | 1989 | 平成元 | 市制施行100年、89鳥取・世界おもちゃ博覧会開催、市第2庁舎開庁 |
| | 1990 | 2 | 韓国・清州市と姉妹都市提携（8月30日）、鳥取港全面供用開始 |
| | 1991 | 3 | 鳥取砂丘の草原化対策に着手（除草実験・松の抜去） |
| | 1992 | 4 | 老人保健施設「やすらぎ」、「新産業創造センター」竣工 |
| | 1995 | 7 | 市立病院の新築移転、わらべ館の開館（7月7日） |
| | 〃 | 〃 | 岩国市姉妹都市提携（10月13日） |
| | 1997 | 9 | 「学習交流センター鳥取」竣工 |
| | 〃 | 〃 | 「東部広域リファーレンいなば」、「鳥取県東部環境クリーンセンター」竣工 |
| | 1998 | 10 | 第22回全国育樹祭、とっとり出合いの森で開催 |
| | 〃 | 〃 | 水道局庁舎新築移転 |
| | 1999 | 11 | 鳥取新都市（つのいニュータウン）開発整備事業完了 |
| | 2000 | 12 | 鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の開館（7月1日） |
| | 〃 | 〃 | 農村型CATV（いなばびょんびょんネット）開局（7月1日） |
| | 〃 | 〃 | 人口15万人突破（10月1日国勢調査） |
| | 2001 | 13 | 鳥取環境大学開学（4月1日） |
| | 〃 | 〃 | 障害者福祉センター「さわやか会館」開館（5月23日） |
| | 〃 | 〃 | ドイツ・ハーナウ市と姉妹都市提携（11月20日） |
| | 2002 | 14 | ワールドカップサッカー・エクアドル代表チームがキャンプ |
| | 〃 | 〃 | 国民文化祭・とっとり2002開催（10月11日） |
| | 〃 | 〃 | 男女共同参画センター「輝（き）なんせ鳥取」オープン（10月6日） |
| | 2003 | 15 | 個人情報保護制度スタート（4月1日） |
| 〃 | 〃 | 市民活動推進センター「アクティブとっとり」オープン（7月13日） | |
| 2004 | 16 | 国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町及び青谷町を編入合併（11月1日） | |
| 〃 | 〃 | 市駅南庁舎開庁 | |
| 2005 | 17 | 駅南庁舎に市中央図書館が移転開館 | |
| 〃 | 〃 | 特例市に移行 | |
| 〃 | 〃 | 郡山市姉妹都市提携（11月25日） | |
| 2006 | 18 | 白兔と河原の2ヶ所の「道の駅」同時オープン | |
| 〃 | 〃 | 鳥取市の木「サザンカ」・花「らっきょうの花」・市民歌を制定（11月1日） | |
| 2007 | 19 | 鳥取市の鳥「オオルリ」を制定（10月1日） | |